PC98-NXシリーズ

VersaPro/VersaPro J

オールインワンノート(高機能タイプ)
オールインワンノート(スタンダードタイプ)
ベーシックノート
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)
(Windows 2000 Professionalインストールモデル)

はじめにお読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを、総称してWindows XPと表記します。
また、Windows 2000 Professionalを、以降Windows 2000と表記します。

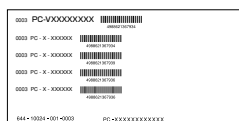
なお本書に記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ

1 型番を控える

型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレクション型番と呼びます)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。
スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、P.6「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、P.11「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	VersaPro
	J	VersaPro J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	13	1.30GHz
	16	1.60GHz
	17	1.70GHz
	18	1.80GHz
	20	2GHz

❸CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPU
	F	インテル® Pentium® M
	M	インテル® Celeron® M

❹本機の型の種類を表しています。

✓	型　番	本機の型
	D	オールインワンノート（高機能タイプ）
	E	ベーシックノート
	R	オールインワンノート（スタンダードタイプ）

❺ディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	F	15型XGA液晶ディスプレイ
	G	15型SXGA+液晶ディスプレイ
	X	14.1型XGA液晶ディスプレイ

❻インストールOS、選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS	選択アプリケーション
	D	Windows 2000 Professional	Office Professional Enterprise 2003
	E	Windows XP Professional	なし
	H		Office Professional Enterprise 2003
	J		Office Personal 2003
	Y	Windows 2000 Professional	なし
	3	Windows 2000 Professional インストールサービス	
	4		Office Personal 2003
	5		Office Professional Enterprise 2003
	6	Windows 2000 Professional	Office Personal 2003
	S	Windows XP Home Edition	Office Professional Enterprise 2003
	U		なし
	W		Office Personal 2003

❼FDD、CD-ROM系、マウスの種類を表しています。

✓	型番	FDD	CD-ROM系	マウス
	A	FDD	CD-ROM	なし
	C			光センサーUSBマウス
	F			PS/2マウス
	J		CD-R/RW with DVD-ROM	なし
	L			光センサーUSBマウス
	R	なし		なし
	S			光センサーUSBマウス
	T			USBマウス
	U	FDD	CD-ROM	
	X		CD-R/RW with DVD-ROM	
	1	なし	CD-ROM	なし
	4			USBマウス
	7			光センサーUSBマウス
	9	FDD	CD-R/RW with DVD-ROM	PS/2マウス

❽合計メモリ、通信機能の種類を表しています。

✓	型　番	合計メモリ	通信機能
	A	512MB（オンボード256MB＋256MB、または256MB×2）	LAN
	E	256MB、またはオンボード256MB	
	G	1GB（512MB×2）	
	H	768MB（オンボード256MB＋512MB）	
	U	256MB、またはオンボード256MB	LAN&無線LAN（IEEE802.11b/g）
	W		LAN&無線LAN（IEEE802.11a/b/g）

❾ハードディスクの容量、再セットアップ用媒体の種類を表しています。

✓	型　番	ハードディスク容量	再セットアップ用媒体
	F	20GB	再セットアップ用 バックアップイメージをHDDに格納
	H	40GB	
	J	60GB	
	L	80GB	
	S	20GB	再セットアップ用CD-ROM添付
	U	40GB	
	V	60GB	
	W	80GB	

※上記の❶～❾の全ての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次にP.11「2 添付品の確認」に進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、P.10「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	VersaPro
	J	VersaPro J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	13	1.30GHz
	16	1.60GHz
	17	1.70GHz
	18	1.80GHz
	20	2GHz

❸CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPU
	F	インテル® Pentium® M
	M	インテル® Celeron® M

❹本機の型の種類を表しています。

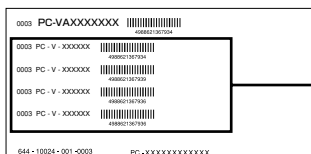
✓	型　番	本機の型
	D	オールインワンノート（高機能タイプ）
	E	ベーシックノート
	R	オールインワンノート（スタンダードタイプ）

❺ディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	F	15型XGA液晶ディスプレイ
	G	15型SXGA＋液晶ディスプレイ
	X	14.1型XGA液晶ディスプレイ

❻インストールOSの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS
	E	Windows XP Professional
	U	Windows XP Home Edition
	Y	Windows 2000 Professional
	3	Windows 2000 Professional インストールサービス

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、❶、❷、❽はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選択必須)。❸〜❼、❾は選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されます(選択任意)。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-N-HD□□□□、PC-J-HD□□□□はハードディスクを表しています。(選択必須)

✓	型　番	ハードディスク
	D20G、R20G、 またはE20F	20GB
	D40F、E40G、 またはR40G	40GB
	D60G、R60G、 またはE60F	60GB
	D80G、またはR80G	80GB
	Y40G、またはH40G	40GB(StandbyDisk Solo付)
	Y60G、またはH60G	60GB(StandbyDisk Solo付)
	Y80G	80GB(StandbyDisk Solo付)

❷PC-N-NE□□□□、PC-J-NE□□□□は通信機能を表しています。(選択必須)

✓	型　番	通信機能
	DLFG、DLGF、RLFG、RLXG、ELFG、またはELXG	LAN
	DBFG、DBGG、EBFG、またはEBXG	LAN&無線LAN(IEEE802.11b/g)
	D3FG、D3GG、R3FG、またはR3XG	LAN&無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

❸PC-N-M□□□□G、PC-J-M□□□□Gは合計メモリを表しています。(オールインワンノート(高機能タイプ)は選択必須、その他は選択任意)

オールインワンノート(スタンダードタイプ)、ベーシックノートで選択しなかった場合は、256MB(オンボード256MB)になります。

✓	型　番	合計メモリ
	D25	256MB DDR SDRAM (256MB)
	D51	512MB DDR SDRAM (512MB)
	D10	1GB DDR SDRAM (1GB)
	R28、またはE28	1280MB DDR SDRAM (オンボード256MB+1GB)
	R76、またはE76	768MB DDR SDRAM (オンボード256MB+512GB)
	R51、またはE51	512MB DDR SDRAM (オンボード256MB+256MB)
	W51	512MB DDR SDRAM (256MB×2)
	W10	1GB DDR SDRAM (512MB×2)
	W20	2GB DDR SDRAM (1G×2)

❹PC-N-CD□□□G、PC-J-CD□□□GはCD-ROM系を表しています。(選択任意)

オールインワンノート(高機能タイプ)で選択しなかった場合は、CDレスモデルになります。

✓	型　番	CD-ROM系
	DCD、RCD、またはECD	CD-ROM
	DRD、RRD、またはERD	CD-R/RW with DVD-ROM
	DDS、またはRDS	DVDスーパーマルチ

❺PC-□-FDFDDFはFDDを表しています。(ベーシックノートは選択任意、その他はなし)

ベーシックノートで選択しなかった場合は、FDレスモデルになります。

✓	型　番	FDD
	N、またはJ	USB FDD

❻PC-N-AP□□□□、PC-J-AP□□□□はアプリケーションを表しています。(選択任意)

✓	型　番	アプリケーション
	SSEF	Office Personal 2003
	SPEG	Office Professional Enterprise 2003

❼PC-N-PD□□□F、PC-J-PD□□□Fはマウスを表しています。(選択任意)

✓	型　番	マウス
	MPS	PS/2マウス
	MUL	光センサーUSBマウス
	MUS、またはMUW	USBマウス

❽PC-N-BA□□□□、PC-J-BA□□□□はバッテリパックを表しています。(選択必須)(ベーシックノートではニッケル水素バッテリが標準搭載です)

✓	型　番	バッテリパック
	DL1FまたはRL1G	リチウムイオンバッテリ
	DN1FまたはRN1G	ニッケル水素バッテリ
	DL2F	リチウムイオンバッテリ&セカンドバッテリパック

❾PC-N-□□□□□□、PC-J-□□□□□□はセキュリティ機能を表しています。(オールインワンノート(高機能タイプ)は選択任意、その他はなし)

✓	型　番	セキュリティ機能
	ABDPBF	暗証番号ボタン
	FPDXBG	内蔵指紋センサ & 暗証番号ボタン
	FPDXEG	内蔵指紋センサ

❿PC-N-KB□□□F、PC-J-KB□□□Fはキーボードを表しています。(オールインワンノート(高機能タイプ)は選択必須、その他はなし)

✓	型　番	キーボード
	DLV	タイプA
	DVA	タイプB

⓫PC-N-2H□□□□、PC-J-2H□□□□はセカンドハードディスクを表しています。(オールインワンノート(高機能タイプ)は選択任意、その他はなし)

✓	型　番	セカンドハードディスク
	D20F	20GB
	D40F	40GB
	D60G	60GB
	D80G	80GB
	E20G	20GB(StandbyDisk付き)
	E40G	40GB(StandbyDisk付き)
	E60G	60GB(StandbyDisk付き)
	E80G	80GB(StandbyDisk付き)

⓬PC-N-N2□□□□、PC-J-N2□□□□は通信機能2を表しています。(選択任意)

✓	型　番	通信機能2
	DMDF、またはRMDG	モデム

⓭PC-N-SU□□□2-S、PC-B-SU□□□2-S、PC-V-SU□□□1-Sは保守パックを表しています。(選択任意)

✓	型　番	保守パック
	101、またはR01	PC98-NXSeriesSupportPack 3年間保守
	102、またはR02	PC98-NXSeriesSupportPack 4年間保守

⓮PC-N-BC□□□G、PC-J-BC□□□Gは再セットアップ用媒体を表しています。(選択任意)

✓	型　番	再セットアップ用媒体
	DXP	再セットアップ用CD-ROM(Windows XP Professional専用)
	DXH	再セットアップ用CD-ROM(Windows XP Home Edition専用)

※上記の❶～⓮の全ての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次のページの「2 添付品の確認」へ進んでください。

2 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

- 梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には充分気を付けてください。
- 本機を箱から取り出すときは、マニュアル類が入っている面が下になるように、箱を置き直してください。

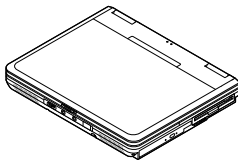
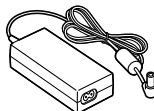
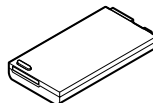
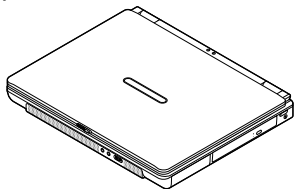
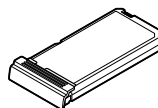
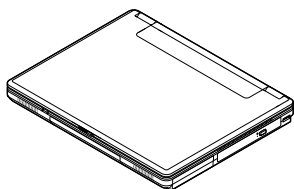
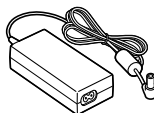
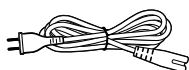
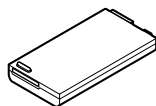
❶箱の中身を確認する

P.2の1またはP.5の6、P.7の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

□ は、各々1つにパックされています。

□保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

□はじめにお読みください(このマニュアルです)

Windows 2000モデルの場合添付

マニュアル

□Windows® 2000 Professional 添付品（※）

（※）Windows® 2000 Professional 添付品には以下のマニュアルやCD-ROMが1つのパックになっています。

- Windows® 2000 Professional クイックスタートガイド
- Windows® 2000 Professional CD-ROM
- プロダクトキー（パックしているビニール袋に貼られています）

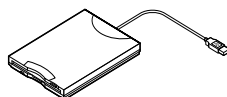
アプリケーションを選択した場合添付

□選択アプリケーション

Microsoft® Office Personal Edition 2003、または
Microsoft® Office Professional Enterprise Editon 2003
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
（P.4 1-❻、またはP.9 2-❻で選択アプリケーションの有無がわかります）

マニュアル

ベーシックノートでFDDを選択した場合添付

□フロッピーディスクドライブ

マウスを選択した場合添付

□マウス

再セットアップ用媒体を選択した場合添付（Windows XPモデルのみ）

□再セットアップ用CD-ROM

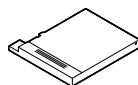
CD-ROM系の種類がCD-R/RW with DVD-ROM、またはDVD スーパーマルチドライブの場合添付

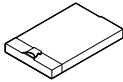
□WinDVD CD-ROM / RecordNow / DLA CD-ROM

ハードディスク（StandbyDisk Solo付）を選択した場合添付

□StandbyDisk Solo 日本語版 CD-ROM
□ユーザー登録書（シリアル番号の記載があります）

セカンドハードディスクを選択した場合添付

□セカンドハードディスク

セカンドハードディスクでStandbyDisk付を選択した場合添付

□StandbyDisk 2000-XP Pro v3 CD-ROM
□ユーザー登録書（シリアル番号の記載があります）

❷本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-VX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元にご連絡ください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次ページの「3 使用場所の決定」へ進んでください。

3 使用場所の決定

使用場所を決める

○ 使用に適した場所

使用に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度5℃～35℃
　湿度20％～80％
　（ただし結露しないこと）

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない
　（机の上など）

× 使用に適さない場所

次のような場所では使用しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス（オゾンガス）などが発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

使用場所が決まったら……

使用場所が決まったら、本機の使用と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。
本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本機を移動するときは……

本機に接続している、全てのケーブル（電源ケーブルなど）を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また移動中に、壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で使用場所の決定は完了です。
次のページの「4 添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

・**LANケーブル(別売)は接続しない、無線LAN ON/OFFスイッチはオフにする**

LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

また、無線LANモデルをお使いの場合は、無線LAN ON/OFFスイッチがオフになっていることを確認してください。

・**添付品の接続をするときは、コネクタの端子に触れない**

故障の原因となります。

添付品の接続方法

1. バッテリパックを取り付ける

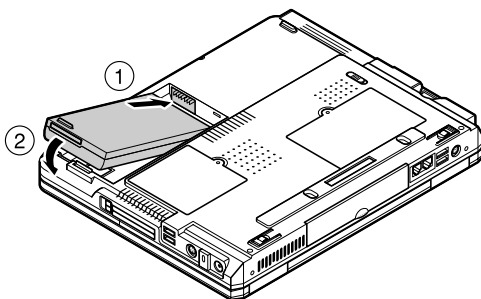
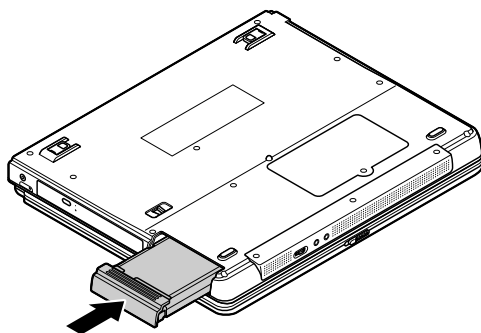
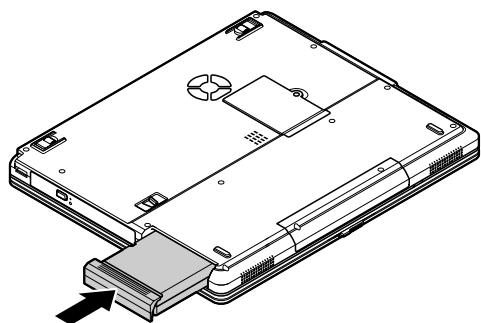
❶本体を裏返す

❷本体にバッテリパックを取り付ける

バッテリパックの向きに注意して、矢印の方向にカチッと音がするまでしっかりと取り付けてください。

■オールインワンノート(高機能タイプ)の場合

①バッテリパックの端子をバッテリスロットの端子の位置にあわせる

②カチッと音がするまでしっかり取り付ける

■オールインワンノート(スタンダードタイプ)の場合

■ベーシックノートの場合

2. ACアダプタを取り付ける

- ご購入直後は、バッテリ駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリ残量が正しく表示されないことがあります。
  必ず、フル充電してから使用してください。
- Windowsのセットアップが終わるまで、ACアダプタを抜かないでください。

❶ACアダプタを本体に差し込む

■オールインワンノート(高機能タイプ)の場合
本機左側面のDCコネクタ(⎓)に、ACアダプタを差し込む

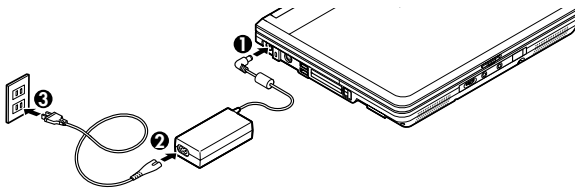
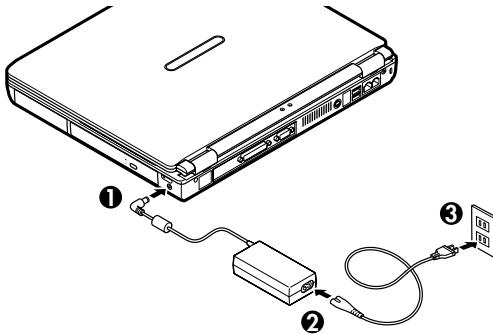
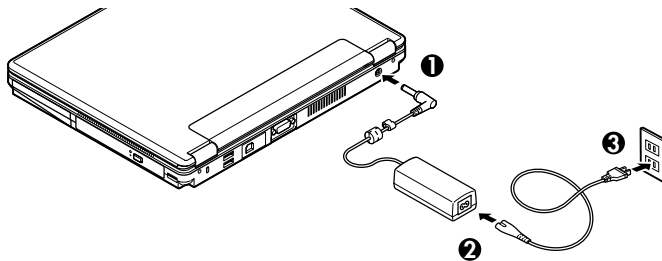
■オールインワンノート(スタンダードタイプ)の場合
本機右側面のDCコネクタ(⎓)に、ACアダプタを差し込む

■ベーシックノートの場合
本機背面のDCコネクタ(⎓)に、ACアダプタを差し込む

❷電源ケーブルをACアダプタに接続する

❸電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

ACアダプタを取り付けると、自動的にバッテリの充電が始まり、バッテリ充電ランプ(🔋)がオレンジ色に点灯します。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプ(🔋)が消灯します。
バッテリの充電状態によってはバッテリ充電ランプ(🔋)が点灯しない場合があります。これはバッテリが95%以上充電されているためです。

■オールインワンノート(高機能タイプ)の場合

■オールインワンノート(スタンダードタイプ)の場合

■ベーシックノートの場合

以上で添付品の接続は完了です。
次ページの「5 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

セットアップをするときの注意

- **周辺機器は接続しない**

  この作業が終わるまでは、「4添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器（プリンタや増設メモリなど）の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒にご購入された場合は、先に「5Windowsのセットアップ」から「8使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- **LANケーブル（別売）は接続しない、無線LAN ON/OFFスイッチはオフにする**

  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

  また、無線LANモデルをお使いの場合は、無線LAN ON/OFFスイッチがオフになっていることを確認してください。
- **途中で電源を切らない**

  作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。
- **セットアップ中は放置しない**

  キー操作が必要な画面で、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、P.28「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

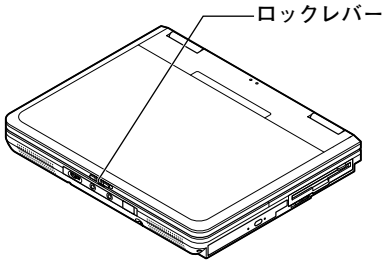
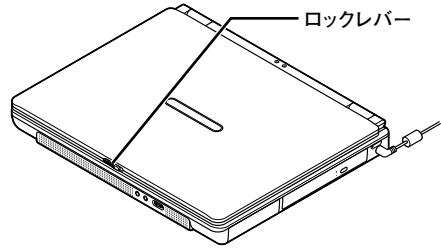
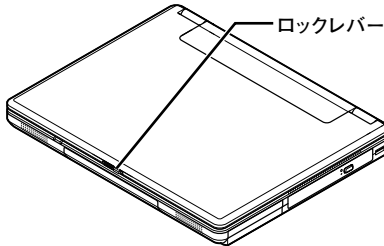
セットアップを始める前の準備

- Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。
- Windows 2000をお買い上げの方は、Windowsセットアップ中にプロダクトキー（『Windows® 2000 Professional クイックスタートガイド』をパックしているビニール袋に貼られています）を入力する必要があります。プロダクトキーは再セットアップするときにも必要になりますので、なくさないようにしてください。

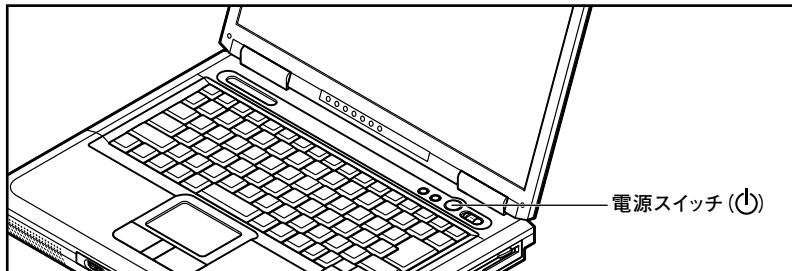
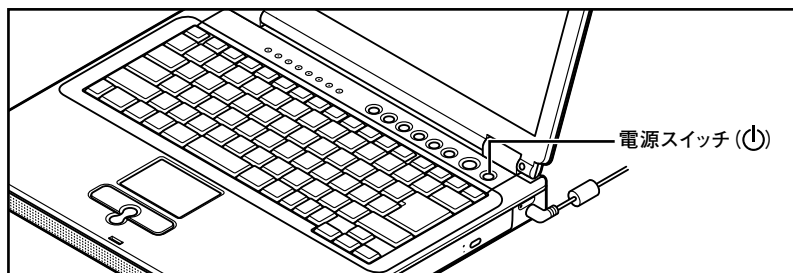
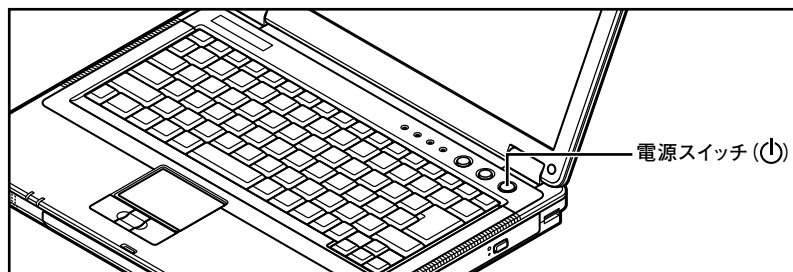
電源を入れる

❶本機のふたを開ける

ロックレバーを右にスライドさせたまま、ふたを持ち上げます。

■オールインワンノート（高機能タイプ）の場合

■オールインワンノート（スタンダードタイプ）の場合

■ベーシックノートの場合

❷本機の電源を入れる

■オールインワンノート（高機能タイプ）の場合

■オールインワンノート(スタンダードタイプ)の場合

■ベーシックノートの場合

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、次の「1. Windows XP Professionalのセットアップ」、P.24「2. Windows XP Home Editionのセットアップ」、またはP.25「3. Windows 2000のセットアップ」に進んでください。

また、Ghostについては、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「Ghost.txt」をご覧ください。

1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④〜⑧の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネットを確認しています。」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❿「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⓫「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、P.27「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④～⑥の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「インターネットを確認しています。」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❼「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❾「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Home Editionのセットアップが終了したら、P.27「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

3. Windows 2000のセットアップ

Windows 2000のセットアップを開始します。

これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。

❶電源ランプが点灯して、「オペレーティングシステムのセットアップ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

自動的に再起動します。

❷「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❸「ライセンス契約」画面が表示される

内容をよくご覧の上、次に進んでください。

①▼をクリックして続きを見る

②内容を確認し、「同意します」にチェックをつける

(同意しない場合、セットアップは続行できません。)

③「次へ」ボタンをクリック

❹「ソフトウェアの個人用設定」画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。また、名前は半角英数字で入力してください。ご利用になるアプリケーションによっては、名前に全角文字が使われていると正常に動作しないものがあります。

①名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

②組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

③「次へ」ボタンをクリック

❺プロダクトキーを入力して「次へ」ボタンをクリック

プロダクトキーは『Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』をパックしているビニール袋に貼られています。

❻「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力

①コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

②パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

③パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力

④「次へ」ボタンをクリック

❼「Windows 2000セットアップ」画面が表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

❽再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック

❾「このコンピュータのユーザー」画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「次へ」ボタンをクリック

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❿「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

デスクトップ画面が表示される前に「システム設定の変更」画面が表示される場合があります。その場合はデスクトップ画面が表示されるまで待ち、「Windows 2000の紹介」画面の「終了」ボタンをクリックしてから、「システム設定の変更」画面の「はい」ボタンをクリックして再起動してください。

Windows 2000のセットアップが終了したら、次の「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

以上でWindowsのセットアップは完了です。
次にP.31「6 お客様登録」へ進んでください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

1. Windows XPの終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

2. Windows 2000の終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリック

❷「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

以上でWindowsのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
P.29「LANケーブルの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

- **電源ケーブルの接続が不完全であることが考えられるので、一度電源ケーブルをコンセントから抜き、本体と電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセントに差し込む**

  電源ケーブルを接続し直しても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの画面が表示されない

初めて本機の電源を入れたときに、「Press〈F1〉to resume,〈F2〉to Setup」または「〈F1〉キーを押すと継続、〈F2〉キーを押すとセットアップを起動します。」と表示された場合は、次の手順に従ってください。

❶【F2】を押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

❷【F5】、【F6】で時間(24 時間形式)を設定し【ENTER】を押す

時刻の値は数字キーで入力できます。

❸同様に分、秒、年(西暦)、月、日を順に設定する

言語を英語に設定している場合は、時、分、秒、月、日、年の順に設定します。

❹【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❺「はい(Yes)」を選び、【ENTER】を押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

❻【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❼「はい(Yes)」を選び、【ENTER】を押す

BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、P.21「セットアップの作業手順」をご覧になり、作業を続けてください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
  CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行できます(CHKDSKは実行されない場合もあります)。
  セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
  再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して強制的に終了する**
  電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。次の「LANケーブルの接続」へ進んでください。

LANケーブルの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
LANケーブル(別売)、および無線LANなどを使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブル、および無線LANなどの接続を行ってください。

❶ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。

＜Windows XPの場合＞

Windows XP Service Pack 2では標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

<Windows 2000の場合>

OSの機能としてファイアウォール機能が搭載されていません。
本機をネットワークに接続させる前に、ファイアウォールソフトを別途入手し、インストールしてファイアウォール機能を有効にすることを推奨します。

❷Windows Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Updateで「優先度の高い更新プログラム」、または「重要な更新とService Pack」の更新を定期的に実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」、または「ヘルプ」をご覧ください。

❸ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルススキャン)が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルススキャンをインストールすることを推奨します。

ウイルススキャンはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルス定義(DAT)ファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルス定義(DAT)ファイルの無償提供期間は登録後90日間です。
引き続きお使いになる場合は、継続利用のお申し込み(有償)が必要です。

ウイルススキャンについて、詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルススキャン」をご覧ください。

メモ

Windows XPのセキュリティ機能(Windowsセキュリティセンター)では、Windowsファイアウォール、Windows Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

LANケーブルを接続する場合は、「2. LANケーブル(別売)を接続する」へ進んでください。

2. LANケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

❶本機の電源を切り、LANケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

❷ハブやスイッチに、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続し、本機の電源を入れる

以上でLANケーブルの接続は完了です。
スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合は、次の「Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)」へ進んでください。その他の場合は、次のページの「6 お客様登録」へ進んでください。

Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)

Office Personal 2003モデル、またはOffice Professional Enterprise 2003モデルをお使いの方は、電子マニュアル(『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Office Personal 2003」の「Office 2003 SP1、Home Style＋SP1の追加」、または「Office Professional Enterprise 2003」の「Office 2003 SP1の追加」)をご覧になり、それぞれ必要なService Packをインストールしてください。

メモ

- 電子マニュアルの参照方法については、P.34「7 マニュアルの使用方法」の「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。
- インストールの途中で「Office Personal 2003」、または「Office Professional Enterprise 2003」のCD-ROMが必要になる場合があるので、あらかじめ用意しておいてください。

以上で、Microsoft® Office 2003 Service Pack 1のインストールは完了です。
次のページの「6 お客様登録」へ進んでください。

6 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街 (企業向け情報／お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」、またはWindowsのヘルプをご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次の「7 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7 マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」の使用方法については、P.34「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●**『安全にお使いいただくために』**
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●Windows 2000 Professional OS用ガイド(Windows 2000モデルのみ)

『Microsoft® Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』
各Windowsの全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。
(ヘルプの中にあるオンライン形式の『Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』でもご覧いただけます。)

●『活用ガイド　再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編　オールインワンノート(高機能タイプ)、オールインワンノート(スタンダードタイプ)、ベーシックノート』　※

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※

アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(VersaPro Jではプリインストールされている OS以外は使用できません)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●選択アプリケーションのマニュアル

Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合、マニュアルが添付されています(P.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●無線LAN用マニュアル　※

『無線LAN(IEEE802.11b/g)について』
『無線LAN(IEEE802.11a/b/g)について』
無線LANの各機能について知りたいときにお読みください。

●内蔵指紋センサ　ユーザーズ・ガイド

モデルによって、内蔵指紋センサのユーザーズ・ガイドが添付されています(P.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『保証規定＆修理に関するご案内』

パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECの企業向け情報機器関連総合サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

CDレスモデルをお使いの場合、別売のCD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブ(VersaBay IVb)が必要になります。

❶CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくはの『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。

  「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名は全て英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動できなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になれません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECの企業向け情報機器関連総合サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。

  http://nec8.com/

  「サポート情報」→「商品情報・消耗品」→「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC(電子マニュアル)」から、電子マニュアルビューアをご覧ください。

  また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

  http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「8 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用･管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については､『活用ガイド　ハードウェア編』､および『活用ガイド　ソフトウェア編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には､本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや､マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので､削除しないでください。以下の方法でお読みください。

■Windows XPの場合

・「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

■Windows 2000の場合

・「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
・「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をクリック

2. Windows XP のService Packについて

Windows XPをお使いの場合、本機にはService Pack 2がインストールされています。

Service Pack 2を削除することにより、使用できなくなる機能、機器がありますので、Service Pack 2は削除しないでください(使用できなくなる機能、機器についての詳細は『活用ガイドソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加（Windows XP Professional、Windows XP Home Editionの場合）」の「「Service Pack」について」をご覧ください)。

また、Service Pack 1の適用に関する情報を下記サイトにて提供しております。Service Pack 1を追加する場合は、下記サイトをご参照の上、ご適用ください。

http://nec8.com/care/windowsxpsp2/index.html

3. Windows 2000のService Packについて

Service Pack 4

Windows 2000をお使いの場合、本機にはService Pack 4がインストールされています。ただし、Service Pack 4を削除することはできません。

4. Securityの設定

スーパバイザ/ユーザパスワード、盗難防止用ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(盗難防止用ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ機能/マネジメント機能」をご覧ください。

5. Intel SpeedStep® テクノロジについて

Intel SpeedStep® テクノロジ

電源の種類やCPUの動作負荷によって、動作性能を切り替えることができます。詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART1　本体の構成各部」の「省電力機能」をご覧ください。

6. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

❶StandbyDisk

2台のハードディスクを使用し、一方のハードディスクドライブの内容をもう一方のハードディスクドライブに定期的（日/週/月単位等）に、バックアップできます。
このため、運用中のハードディスクドライブの障害が起きたときに、もう一方のハードディスクから起動し、バックアップした時点の環境に戻すことができます。
StandbyDiskは「増設ハードディスク(StandbyDisk付き)」を選択した場合のみ添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk」をご覧ください。

❷StandbyDisk Solo

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。
稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動しシステムを復旧することが可能です。
StandbyDisk Soloは「ハードディスク(StandbyDisk Solo付)」を選択した場合のみ添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk Solo」をご覧ください。

❸StandbyDisk Solo RB

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。

稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。

なお、StandbyDisk Solo RBからStandbyDisk Soloへのアップグレードを次のWebサイトから有償で行うことができます。

http://www.netjapan.co.jp/solo/rb1a4/

また、「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」を利用して、「StandbyDisk Solo RB」をインストールできます。

「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」は以下の方法で起動することができます。

■Windows XPの場合

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→
「StandbyDisk Solo RB インストールガイド」をクリック

■Windows 2000の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「メンテナンスツール」→
「StandbyDisk Solo RB インストールガイド」をクリック

なお、StandbyDisk Solo RBはVersaProのみ使用できます。

7. LANDesk Management Agentのセットアップについて

本機にはLANDesk Management Agentが添付されています。
LANDesk Management AgentはLANDesk Software, Ltd.から販売されているLANDesk® Management Suite(別売)を使用してLANDesk® Management Suiteクライアントエージェントのリモートインストールをサポートするアプリケーションです。
LANDesk Management Suiteクライアントエージェントをインストールすることにより、LANDesk Management Suiteによる管理を可能にし、情報機器のソフトウェア、およびハードウェアの資産管理、セキュリティパッチの適用状況、OSやアプリケーションの更新などができます。
LANDesk Management Agentのセットアップ方法については、本機添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「LDMA」ディレクトリの「SETUP.TXT」をご覧ください。
なお、LANDesk Management Agentは、VersaProのオールインワンノート(高機能タイプ)、オールインワンノート(スタンダードタイプ)のWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

8. 上手な使い方

❶トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。
また、トラブルが起きてしまった場合にそなえ、「システム修復ディスク」をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。「システム修復ディスク」の作成方法は、『活用ガイド 再セットアップ編』を、その他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

❷本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART4　付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

9. 保証期間と保守について

使用開始日表示ユーティリティ

本製品の保証期間は、製品ご購入日、もしくは初回電源投入日のどちらか遅い方の日から開始します。

初回電源投入日、型番、製造番号、構成コードは以下の方法で確認できます。

■Windows XPの場合

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

■Windows 2000の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

本製品の保証についての詳細は『保証規定＆修理に関するご案内』をご覧ください。

9 付録　機能一覧

仕様一覧

1. オールインワンノート(高機能タイプ)

型名*1			VY20F/DG-R VJ20F/DG-R	VY20F/DF-R VJ20F/DF-R	VY17F/DG-R VJ17F/DG-R	VY17F/DF-R VJ17F/DF-R	VY13M/DF-R VJ13M/DF-R
CPU *49			インテル® Pentium® M プロセッサ 755 (拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジ*2 搭載)		インテル® Pentium® M プロセッサ 735 (拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジ*2 搭載)		インテル® Celeron® M プロセッサ 350
	クロック周波数		2GHz		1.70GHz		1.30GHz
キャッシュメモリ (CPU内蔵)	1次		インストラクション用32KB/データ用32KB				
	2次		2,048KB				1,024KB
BIOS ROM (Flash ROM)			512KB (BIOSほか)				
システムバス			400MHz (メモリバス:266MHz)				
チップセット			インテル® 855GM チップセット				
最大メモリ (メインメモリ)			2GB				
表示機能	表示素子		15型TFTカラー液晶 (SXGA+)	15型TFTカラー液晶 (XGA)	15型TFTカラー液晶 (SXGA+)	15型TFTカラー液晶 (XGA)	
	ビデオRAM		メインメモリより1～64MBを自動的に使用。				
	グラフィックアクセラレータ*7		インテル® 855GM (チップセットに内蔵。デュアルディスプレイ機能*4、スムージング機能*9をサポート、AGP対応)				
	解像度・表示色*11 (別売の外部ディスプレイ接続時*12)	640×480ドット〈VGA〉*21	最大1,677万色*13 (最大1,677万色)				
		800×600ドット〈SVGA〉	最大1,677万色*13 (最大1,677万色)				
		1,024×768ドット〈XGA〉	最大1,677万色*13 (最大1,677万色)				
		1,280×1,024ドット〈SXGA〉	最大1,677万色*13 (最大1,677万色) ※XGAではバーチャルスクリーン機能により実現				
		1,400×1,050ドット〈SXGA+〉	最大1,677万色*13 (-)	- (-)	最大1,677万色*13 (-)	- (-)	
		1,600×1,200ドット〈UXGA〉	最大1,677万色*13 (最大1,677万色) ※バーチャルスクリーン機能により実現				
サウンド機能	音源/サウンド機能		PCM録音再生機能 (ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応)、モノラルマイクロフォン内蔵、MIDI音源機能 (ソフトウェアMIDI[XG、XG-Lite、GM、GS演奏モード対応、DLS2対応*15])、マイクノイズ除去機能*16、3Dポジショナルサウンド				
	スピーカ/スピーカ定格出力		内蔵ステレオスピーカ/1.44W+1.44W				
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載				
通信機能	LAN		標準内蔵 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応)				
記憶装置	FDD		標準内蔵、3モード対応 (MultiBay-b) *35				
入力装置	キーボード		本体との一体型、JIS標準配列 (英数・かな)、Fnキー (ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー・右Altキー・右Ctrlキー付				
	ワンタッチスタートボタン		任意のアプリケーションを登録可能なワンタッチスタートボタンを2つ装備 (出荷時はMicrosoft® Internet Explorer、Outlook Expressを登録済み)				
	ポインティングデバイス*19		スクロール機能付NXパッド標準装備				
インターフェイス	USB *28		USB (USB2.0) ×4 *23				
	TV-OUT端子		TV-OUT端子 (Sビデオ端子) ×1				
	ディスプレイ		外部ディスプレイコネクタ (アナログRGB)、ミニD-sub15ピン×1				
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1				
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1 、最高115.2kbps対応				

型名＊[1]			VY20F/DG-R VJ20F/DG-R	VY20F/DF-R VJ20F/DF-R	VY17F/DG-R VJ17F/DG-R	VY17F/DF-R VJ17F/DF-R	VY13M/DF-R VY13M/DF-R
インターフェイス	マウス/テンキーボード		PS/2 タイプ　ミニDIN6 ピン×1				
	通信関連		RJ45（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）LAN コネクタ、RJ11 モジュラコネクタ（FAX モデム）＊[36]、赤外線通信（IrDA1.1 規格準拠、データ転送速度4Mbps）				
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1（マイク入力インピーダンス 10k Ω 入力レベル 5mVrms、バイアス電圧3.7V）				
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1（ヘッドフォン出力インピーダンス 16 Ω -100 Ω「推奨32 Ω」、出力電力 5mW/32 Ω				
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用（ライン出力レベル 1Vrms）				
PC カードスロット			Type Ⅰ/Ⅱ×2 スロット（Type Ⅲ×1 としても使用可能）＊[25]、PC Card Standard 準拠、CardBus 対応				
拡張ベイ			VersaBay Ⅳb、MultiBay-b				
パワーマネジメント			自動または任意設定可能（CPU 制御＊[2]、HDD 制御、モニタ節電機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能）				
電源			ニッケル水素バッテリ（DC9.6V、3,600mAh）、リチウムイオンバッテリ（DC14.8V、4,400mAh）、セカンドバッテリパック（DC14.8V、3,600mAh）、または AC100V ± 10%、50/60Hz（AC アダプタ経由）[AC アダプタ自体は、入力電圧 AC240V までの安全規格を取得していますが、添付の電源コードは AC100V 用（日本仕様）です。日本以外の国で使用する場合は、別途電源コードが必要です。]				
消費電力＊[29]（最大構成時）	Windows® XP Professional での測定値		約25W（約60W）	約23W（約60W）	約25W（約60W）	約23W（約60W）	約24W（約60W）
	Windows® 2000 Professional での測定値		約25W（約60W）	約23W（約60W）	約25W（約60W）	約23W（約60W）	約24W（約60W）
エネルギー消費効率（省エネ基準達成率）＊[3]	Windows® XP Professional での測定値		S 区分 0.00034（AAA）	S 区分 0.00034（AAA）	S 区分 0.00040（AAA）	S 区分 0.00040（AAA）	S 区分 0.00055（AAA）
	Windows® 2000 Professional での測定値		S 区分 0.00034（AAA）	S 区分 0.00034（AAA）	S 区分 0.00040（AAA）	S 区分 0.00040（AAA）	S 区分 0.00055（AAA）
電波障害対策			VCCI ClassB				
外形寸法（突起部含まず）			327（W）× 269.5（D）× 40.4 ～ 42.4＊[6]（H）mm				
質量（FDD、CD-ROM、標準バッテリ含む）＊[8]			約3.5kg				
温湿度条件			5 ～ 35℃、20 ～ 80%（ただし結露しないこと）				
インストール可能 OS＊[17]＊[24]＊[27]			Windows® XP Professional（SP2）＊[14]、Windows® XP Home Edition（SP2）＊[14]、Windows® 2000 Professional（SP4）				Windows® XP Professional（SP2）、Windows® XP Home Edition（SP2）、Windows® 2000 Professional（SP4）
主な添付品			AC アダプタ、Windows 2000 Professional CD-ROM（Windows® 2000 Professional のみ）＊[17]、アプリケーション CD-ROM/ マニュアル CD-ROM（Windows® 2000 Professional ではバックアップ CD-ROM（OS を除く）/ アプリケーション CD-ROM/ マニュアル CD-ROM）＊[17]、印刷マニュアル類、保証書 他				

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。

＊ 2：Windows® 2000 Professional の場合は Intel SpeedStep® テクノロジのセットアップが必要。この機能は電源の種類（AC 電源、バッテリ）やシステム負荷に応じて動作性能を切り替える機能です。

＊ 3：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語 A は達成率 100% 以上 200% 未満、AA は達成率 200% 以上 500% 未満、AAA は達成率 500% 以上を示します。

＊ 4：本体の液晶ディスプレイと、外付けディスプレイで、異なるデスクトップ画面を表示する機能。Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition で実現。

＊ 6：最薄部～最厚部。バッテリ部、ゴム足部、上蓋エンブレムの突起部を除く。

＊ 7：Microsoft® 社の DirectX® に対応。

＊ 8：PC カードは未装着

＊ 9：文字や画面を滑らかに拡大する機能。

＊11：表示素子（本体液晶ディスプレイ）より低い解像度を選択した場合、拡大表示機能により、液晶画面全体に表示可能。拡大表示によって文字などの線の太さが不均一になることがあります。

＊12：本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同画面表示可能。ただし、拡大表示機能を使用しない状態では、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。

＊13：1,677 万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現

＊14：プリインストール OS 以外の OS 環境では、拡張版 Intel SpeedStep® 機能が使用できない場合があります。

＊15：DLS は「DownLoadable Sounds」の略です。DLS を使うと、カスタム・サウンド・セットを SoundMAX シンセサイザにロードできます。

＊16：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。

＊17：セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM系機器が必要です。

＊19：PS/2マウス接続時は、NXパッドの機能は自動的に無効化されます。

＊21：Windows® 2000 Professionalのみ表示可能。

＊23：Windows® XP Professional、Windows® XP Home EditionではUSB2.0、Windows® 2000 ProfessionalではUSB1.1に設定されています（初期状態）。なお、別売のインストール可能OS用ドライバにUSB2.0ドライバは含まれません。

＊24：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、VersaPro JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード（ビジネスPC/プリンタ/PC周辺機器）」の「インストール可能OS用ドライバ（サポートOS用ドライバ）」の「VersaPro」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、「インストール/添付アプリケーション」がご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。

＊25：セレクションメニューにて指紋センサを選択時は、Type Ⅰ/Ⅱ×1スロット（Type Ⅲは使用不可）。

＊27：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは（ ）内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は（ ）内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。

＊28：Windows® 2000 Professionalで本体のBIOSでUSB2.0を有効に設定した状態でUSB1.1機器をお使いの際は、スタンバイと休止状態は未サポートです。（電源オプション（「電源設定」および「詳細」）のシステムスタンバイおよびシステム休止状態を使用しない設定にする必要があります。）

＊29：OSはWindows® XP Professional（Windows 2000 インストールモデルはWindows® 2000 Professional）、メモリ256MB、ハードディスク40GB、CD-ROMあり、FDDありの構成で測定。

＊35：3モード（720KB/1.2MB/1.44MB）に対応。Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition、Windows® 2000 Professionalでの1.2MBへの対応はドライバのセットアップが必要（標準添付）。Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionでは1.44MB以外（640KB/720KB/1.2MB）のフォーマット不可。Windows® 2000 Professionalでは640KBのフォーマット不可。

＊36：セレクションメニュー選択時。

＊49：使用環境や負荷によりCPU動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。

◆セレクションメニュー＊57

型名＊1			VY20F/DG-R VJ20F/DG-R	VY20F/DF-R VJ20F/DF-R	VY17F/DG-R VJ17F/DG-R	VY17F/DF-R VJ17F/DF-R	VY13M/DF-R VJ13M/DF-R
再セットアップ用データ＊50	HDD		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納＊52（Windows® XP Professional/Home Editionモデルのみ）				
	CD-ROM		再セットアップ用CD-ROM＊54添付（Windows® XP Professional/Home Editionモデルのみ）				
メモリ＊51	256MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2100、256MB SO-DIMM ×1				
	512MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2100、256MB SO-DIMM ×2				
	512MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2100、512MB SO-DIMM ×1				
	1GB（1,024MB）		ECC無しDDR-SDRAM、PC2100、512MB SO-DIMM ×2				
	1GB（1,024MB）		ECC無しDDR-SDRAM、PC2100、1,024MB SO-DIMM×1				
	2GB（2,048MB）		ECC無しDDR-SDRAM、PC2100、1,024MB SO-DIMM×2				
通信機能	FAXモデム＊70	モデム	モデム内蔵（データ転送速度 最大56kbps（V.90）エラー訂正V.42/MNP4データ圧縮V.42bis/MNP5）				
		FAX	内蔵（データ転送速度 最大14.4kbps （V.17）FAX制御クラス1）				
	無線LAN（IEEE802.11b/g）＊60		IEEE802.11b/g準拠＊58、WPA対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128ビット（ユーザ設定鍵長40/104ビット）〕				
	無線LAN（IEEE802.11a/b/g）＊60		IEEE802.11a/b/g準拠＊58＊74、WPA対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128/152ビット（ユーザ設定鍵長40/104/128ビット）〕				
キーボード			87キー（タイプA）、または90キー（タイプB）				
マウス	PS/2マウス（ボール）		PS/2スクロールマウス（ボール）＊68（ケーブル長：約80cm）				
	USBマウス（ボール）		USBスクロールマウス（ボール）（ケーブル長：約80cm）				
	USBマウス（光センサー）		USBスクロールマウス（光センサー）（ケーブル長：約80cm）				
ハードディスク	20GB		約20GB＊56、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
	40GB		約40GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
	60GB		約60GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
	80GB		約80GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
増設ハードディスク＊64	20GB		約20GB、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
	40GB		約40GB、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
	60GB		約60GB、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
	80GB		約80GB、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
CD-ROM系＊66	CD-ROM		最大24倍速（最内周10倍速、最外周24倍速）				
	CD-R/RW with DVD-ROM＊53＊65		CD-ROM読込み：最大24倍速、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、DVD-RAM読み込み：最大1倍速＊75＊76、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速（High Speed CD-RWメディア対応＊61、バッファアンダーランエラー防止機能付き）				
	DVDスーパーマルチドライブ＊53＊65＊67		DVD-RAM読み込み：最大3倍速、DVD-RAM書き換え：最大3倍速、DVD+RW書き換え：最大4倍速、DVD-RW書き換え：最大4倍速、DVD+R書き込み：最大8倍速、DVD-R書き込み：最大8倍速、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、CD-ROM読み込み：最大24倍速、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速(High Speed CD-RWメディア対応＊61、バッファアンダーランエラー防止機能付き)				
セキュリティ機能	指紋センサ＊55		OSログイン時、スクリーンセーバ解除時などに指紋による認証が可能。				
	暗証番号ボタン		ボタンの組み合わせにより電源投入時の認証が可能（暗証番号の組み合わせは約80万通り）				
バッテリ＊62	ニッケル水素バッテリ ※Windows® XP Professionalでの測定値	駆動時間（JEITA＊59準拠）	約1.6～2.3時間（約1.9時間）	約1.8～2.6時間（約2.2時間）	約1.6～2.3時間（約1.9時間）	約1.8～2.6時間（約2.2時間）	約1.5～2.3時間（約1.9時間）
		充電時間（ON時/OFF時）	約2.5時間/約2.5時間				
	ニッケル水素バッテリ ※Windows® 2000 Professionalでの測定値	駆動時間（JEITA＊59準拠）	約1.2～2.3時間（約1.7時間）	約1.3～2.6時間（約1.9時間）	約1.2～2.3時間（約1.7時間）	約1.3～2.6時間（約1.9時間）	約1.3～2.5時間（約1.9時間）
		充電時間（ON時/OFF時）	約2.5時間/約2.5時間				
	リチウムイオンバッテリ ※Windows® XP Professionalでの測定値	駆動時間（JEITA＊59準拠）	約3.2～4.4時間（約3.8時間）	約3.4～4.8時間（約4.1時間）	約3.2～4.6時間（約3.9時間）	約3.4～4.8時間（約4.1時間）	約2.8～4.6時間（約3.7時間）
		充電時間（ON時/OFF時）	約3.5時間/約3.5時間				
	リチウムイオンバッテリ ※Windows® 2000 Professionalでの測定値	駆動時間（JEITA＊59準拠）	約2.5～4.6時間（約3.5時間）	約2.7～5時間（約3.8時間）	約2.5～4.6時間（約3.5時間）	約2.8～5時間（約3.9時間）	約2.9～5.1時間（約4時間）
		充電時間（ON時/OFF時）	約3.5時間/約3.5時間				

型名*1			VY20F/DG-R VJ20F/DG-R	VY20F/DF-R VJ20F/DF-R	VY17F/DG-R VJ17F/DG-R	VY17F/DF-R VJ17F/DF-R	VY13M/DF-R VY13M/DF-R
バッテリ*62	リチウムイオンバッテリ+セカンドバッテリ ※Windows® XP Professionalでの測定値	駆動時間 (JEITA*59準拠)	約6～8時間 (約7時間)	約6.3～8.6時間 (約7.4時間)	約6～8時間 (約7時間)	約6.3～8.6時間 (約7.4時間)	約5.2～8.4時間 (約6.8時間)
		充電時間 (ON時/OFF時)	約6.5時間/約6.5時間				
	リチウムイオンバッテリ+セカンドバッテリ ※Windows® 2000 Professionalでの測定値	駆動時間 (JEITA*59準拠)	約4.5～8.4時間 (約6.4時間)	約5～9.2時間 (約7.1時間)	約4.5～8.4時間 (約6.4時間)	約5.1～9.2時間 (約7.1時間)	約5.3～9.4時間 (約7.3時間)
		充電時間 (ON時/OFF時)	約6.5時間/約6.5時間				

*50：セレクションによっては再セットアップ用CD-ROMは添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。

*51：メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。

*52：HDD内の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。これらの再セットアップ用バックアップイメージをCD-R媒体に書き出す際は、セレクションメニューで選択可能なDVDスーパーマルチドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMが必要です。

*53：DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 4」が添付されています。

*54：再セットアップ用CD-ROMを使用するには、セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM系機器が必要です。なお、再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

*55：内蔵指紋センサはプリインストールのOS以外ではご利用になれません。

*56：Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionは10GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。Windows® 2000 Professionalは10GBがFAT32、残りはNTFSでフォーマット済み。また、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionでは最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

*57：セレクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。

*58：接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。

*59：JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。
JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)
Windows® XP Professional にて測定。
駆動時間＝(測定法a+ 測定法b)/2
測定法a、b共通条件〈条件〉
1) 「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ低下アラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ低下アラーム」を無効にする。
2) 「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ切れアラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ切れアラーム」を無効にする。
3) LCD輝度:測定法aに於いて20cdを下回らない値に設定。
測定法a:輝度8段階中下から2段目
測定法b:輝度8段階中下から1段目
4) 「画面のプロパティ」・「スクリーンセーバー」タブ内の「スクリーンセーバー(S)」・「(なし)」に設定し、スクリーンセーバーを無効にする。
5) ワイヤレスクライアントマネージャが常駐している場合は終了する。
測定法a〈条件〉
1) 動画再生ソフト：Windows Media Player にて連続再生。
2) 「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目を全て「なし」に設定。
3) 「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」・「音量」・「デバイスの音量」・「ミュート(M)」のチェックボックスにチェックを入れる。
測定法b〈条件〉
1) デスクトップ画面の表示を行った状態で放置。
2) 「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目の「ハードディスクの電源を切る(I)」を「3分後」に設定。他の項目は「なし」に設定。

*60：業界団体Wi-Fi Allianceの標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しております。

*61：8倍速以上で書き換えるには、High Speed CD-RWメディアが必要です。

*62：バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって上記記載時間と異なる場合があります。バッテリパックは消耗品です。長時間駆動設定時、CPU動作性能はLOWモード。(インテル® Celeron® M プロセッサを除く。)

＊63：Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionは、20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。Windows® 2000 Professionalは、20GBがFAT32、残りはNTFSでフォーマット済み。また、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionでは最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージ格納されておりません。。

＊64：未フォーマットです。

＊65：書き込みツール「RecordNow/DLA」が添付されます。

＊66：コピーコントロールCDなど、一部の音楽CDの作成及び再生ができない場合があります。

＊67：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア（TYPE1）はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。DVD-RはDVD for General Ver2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

＊68：PS/2テンキーボード（PK-KB026/006）と同時使用の際は、別売のYケーブル（PK-KB012）が必要です。

＊70：回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。内蔵FAXモデムは、海外でもご使用いただけます。利用可能な地域など詳細はhttp://nec8.com/products/versapro/modem.htmlにてご確認ください。

＊74：Super AG™に対応。Super AG™機能を使用するには、接続先の無線LAN機器もSuper AG™に対応している必要があります。

＊75：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア（TYPE1）はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。

＊76：Windows® 2000 ProfessionalではDVD-RAMメディアは読み込みできません。

2.オールインワンノート(スタンダードタイプ)

型名＊1			VY18F/RF-R VJ18F/RF-R	VY16F/RF-R VJ16F/RF-R	VY16F/RX-R VJ16F/RX-R	VY13M/RF-R VJ13M/RF-R	VY13M/RX-R VJ13M/RX-R
CPU＊49			インテル® Pentium® M プロセッサ 745 (拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジ＊2 搭載)	インテル® Pentium® M プロセッサ 725 (拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジ＊2 搭載)		インテル® Celeron® M プロセッサ 350	
	クロック周波数		1.80 GHz	1.60 GHz		1.30 GHz	
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		インストラクション用32KB/データ用32KB				
	2次		2,048KB			1,024KB	
BIOS ROM (Flash ROM)			512KB (BIOSほか)				
システムバス			400MHz (メモリバス:333MHz)				
チップセット			ATI社製MOBILITY™ RADEON™ 9100 IGP/IXP 150				
最大メモリ(メインメモリ)			1,280MB				
表示機能	表示素子		15型TFTカラー液晶(XGA)		14.1型TFTカラー液晶(XGA)	15型TFTカラー液晶(XGA)	14.1型TFTカラー液晶(XGA)
	ビデオRAM		16/32/64/128MB (BIOS Setup menuにて変更可能、メインメモリを使用)				
	グラフィックアクセラレータ＊7		ATI社製MOBILITY™ RADEON™ 9100 IGPに内蔵(デュアルディスプレイ機能＊4、ハードウェアT&L機能＊10、スムージング機能＊9をサポート、AGP対応)				
	解像度・表示色＊11(別売の外部ディスプレイ接続時＊12)	640×480ドット〈VGA〉＊21	最大1,677万色＊13(最大1,677万色)				
		800×600ドット〈SVGA〉	最大1,677万色＊13(最大1,677万色)				
		1,024×768ドット〈XGA〉	最大1,677万色＊13(最大1,677万色)				
		1,280×1,024ドット〈SXGA〉	最大1,677万色＊13(最大1,677万色) ※バーチャルスクリーン機能により実現				
		1,600×1,200ドット〈UXGA〉	最大1,677万色＊13(最大1,677万色) ※バーチャルスクリーン機能により実現				
		1,920×1,440ドット	最大1,677万色＊13(最大1,677万色) ※バーチャルスクリーン機能により実現				
サウンド機能	音源/サウンド機能		PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI[XG、XG-Lite、GM、GS演奏モード対応、DLS2対応＊15])、マイクノイズ除去機能＊16、3Dポジショナルサウンド				
	スピーカ/スピーカ定格出力		内蔵ステレオスピーカ/1.5W+1.5W				
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載				
通信機能	LAN		標準内蔵(100BASE-TX/10BASE-T対応)				
記憶装置	FDD		標準内蔵、3モード対応＊35				
入力装置	キーボード		本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな)、Fnキー(ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー・右Altキー・右Ctrlキー付				
	ワンタッチスタートボタン		任意のアプリケーションを登録可能なワンタッチスタートボタンを2つ装備(出荷時はMicrosoft® Internet Explorer、Outlook Expressを登録済み)				
	ポインティングデバイス＊19		スクロール機能付NXパッド標準装備				
インターフェイス	USB＊28		USB(USB2.0)×4＊23				
	TV-OUT端子		TV-OUT端子(Sビデオ端子)×1				
	ディスプレイ		外部ディスプレイコネクタ(アナログRGB) ミニD-sub15ピン×1				
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1				
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応				
	マウス/テンキーボード		PS/2タイプ ミニDIN6ピン×1				
	通信関連		RJ45(100BASE-TX/10BASE-T)LANコネクタ、RJ11モジュラコネクタ(FAXモデム)＊36				
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス20kΩ 入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V)				
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(ヘッドフォン出力インピーダンス16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力5mW/32Ω				
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用 (ライン出力レベル 1Vrms)				
PCカードスロット			TypeⅠ/Ⅱ×2スロット(TypeⅢ×1としても使用可能)、PC Card Standard準拠、CardBus対応				
パワーマネジメント			自動または任意設定可能(CPU制御＊2、HDD制御、モニタ節電機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能)				

型名*1		VY18F/RF-R VJ18F/RF-R	VY16F/RF-R VJ16F/RF-R	VY16F/RX-R VJ16F/RX-R	VY13M/RF-R VJ13M/RF-R	VY13M/RX-R VJ13M/RX-R
電源		ニッケル水素バッテリ(DC9.6V、3,600mAh)、リチウムイオンバッテリ(DC14.8V、4,400mAh)、またはAC100V ± 10%、50/60Hz(ACアダプタ経由)[ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全規格を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。日本以外の国で使用する場合は、別途電源コードが必要です。]				
消費電力*29 (最大構成時)	Windows® XP Professionalでの測定値	約29W (約60W)	約29W (約60W)	約29W (約60W)	約25W (約60W)	約25W (約60W)
	Windows® 2000 Professionalでの測定値	約30W (約60W)	約30W (約60W)	約30W (約60W)	約30W (約60W)	約30W (約60W)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)*3	Windows® XP Professionalでの測定値	S区分 0.00025 (AAA)	S区分 0.00028 (AAA)	S区分 0.00028 (AAA)	S区分 0.00035 (AAA)	S区分 0.00035 (AAA)
	Windows® 2000 Professionalでの測定値	S区分 0.00025 (AAA)	S区分 0.00028 (AAA)	S区分 0.00028 (AAA)	S区分 0.00035 (AAA)	S区分 0.00035 (AAA)
電波障害対策		VCCI ClassB				
外形寸法(突起部含まず)		333(W)× 274.5(D)× 36.3*6(H)mm				
質量(FDD、CD-ROM、標準バッテリ含む)*8		約3.4kg	約3.4kg	約3.4kg	約3.4kg	約3.4kg
温湿度条件		5~35℃、20~80%(ただし結露しないこと)				
インストール可能OS*24*27		Windows® XP Professional(SP2)*14、Windows® XP Home Edition(SP2)、Windows® 2000 Professional(SP4)			Windows® XP Professional(SP2)、Windows® XP Home Edition(SP2)、Windows® 2000 Professional(SP4)	
主な添付品		ACアダプタ、Windows 2000 Professional CD-ROM(Windows® 2000 Professionalのみ)、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM(Windows® 2000 ProfessionalではバックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM)、印刷マニュアル類、保証書 他				

* 1: セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
* 2: Windows® 2000 Professionalの場合はIntel SpeedStep®テクノロジのセットアップが必要。この機能は電源の種類(AC電源、バッテリ)やシステム負荷に応じて動作性能を切り替える機能です。
* 3: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
* 4: 本体の液晶ディスプレイと、外付けディスプレイで、異なるデスクトップ画面を表示する機能。Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionで実現。
* 6: 最薄部~最厚部。バッテリ部、ゴム足部、上蓋エンブレムの突起部を除く。
* 7: Microsoft®社のDirectX®に対応。
* 8: PCカードは未装着
* 9: 文字や画面を滑らかに拡大する機能。
*10: 3D描画演算時に「変換処理(Transform)」「照明処理(Lighting)」をハードウェアで支援する機能。ソフトウェア(CPU)演算による描画に比べ、より高度な描画演算が可能になり、グラフィック描画品質が向上します。なお、本機能は対応するソフトウェア(DirectX、Direct3D対応)との組み合わせで有効な機能です。
*11: 表示素子(本体液晶ディスプレイ)より低い解像度を選択した場合、拡大表示機能により、液晶画面全体に表示可能。拡大表示によって文字などの線の太さが不均一になることがあります。
*12: 本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同画面表示可能。ただし、拡大表示機能を使用しない状態では、外付けディスプレイ全体には表示されません。
*13: 1,677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現
*14: プリインストールOS以外のOS環境では、拡張版Intel SpeedStep®機能が使用できない場合があります。
*15: DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。
*16: ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。
*19: PS/2マウス接続時は、NXパッドの機能は自動的に無効化されます。
*21: Windows® 2000 Professionalのみ表示可能。
*23: Windows® XP Professional、Windows® XP Home EditionではUSB2.0、Windows® 2000 ProfessionalではUSB1.1に設定されています(初期状態)。なお、別売のインストール可能OS使用時はOS用ドライバにUSB2.0ドライバは含まれません。
*24: インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、VersaPro JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード(ビジネスPC/プリンタ/PC周辺機器)」の「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」の「VersaPro」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、「インストール/添付アプリケーション」がご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。

＊27：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。
＊28：Windows® 2000 Professionalで本体のBIOSでUSB2.0を有効に設定した状態でUSB1.1機器をお使いの際は、スタンバイと休止状態は未サポートです。(電源オプション(「電源設定」および「詳細」)のシステムスタンバイおよびシステム休止状態を使用しない設定にする必要があります。)
＊29：OSはWindow® XP Professional(Windows 2000 インストールモデルはWindows® 2000 Professional)、メモリ256MB、ハードディスク40GB、CD-ROMあり、FDDありの構成で測定。
＊35：3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)に対応。Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition、Windows® 2000 Professionalでの1.2MBへの対応はドライバのセットアップが必要(標準添付)。Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionでは1.44MB以外(640KB/720KB/1.2MB)のフォーマット不可。Windows® 2000 Professionalでは640KBのフォーマット不可。
＊36：セレクションメニュー選択時。
＊49：使用環境や負荷によりCPU動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。

◆セレクションメニュー＊57

型名＊1			VY18F/RF-R VJ18F/RF-R	VY16F/RF-R VJ16F/RF-R	VY16F/RX-R VJ16F/RX-R	VY13M/RF-R VJ13M/RF-R	VY13M/RX-R VJ13M/RX-R
再セットアップ用データ＊50	HDD		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納＊52（Windows® XP Professional/Home Editionモデルのみ）				
	CD-ROM		再セットアップ用CD-ROM＊54添付（Windows® XP Professional/Home Editionモデルのみ）				
メモリ＊51	256MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、オンボード256MB＊69				
	512MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、オンボード256MB＊69 +256MB SO-DIMM×1				
	768MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、オンボード256MB＊69 +512MB SO-DIMM×1				
	1,280MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、オンボード256MB＊69 +1024MB SO-DIMM×1				
通信機能	FAXモデム＊70	モデム	モデム内蔵（データ転送速度 最大56kbps（V.90）エラー訂正V.42/MNP4 データ圧縮V.42bis/MNP5）				
		FAX	内蔵（データ転送速度 最大14.4kbps （V.17）FAX制御クラス1）				
	無線LAN（IEEE802.11a/b/g）＊60		IEEE802.11a/b/g準拠＊58＊74、WPA対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128/152ビット（ユーザ設定鍵長40/104/128ビット）〕				
マウス	USBマウス（ボール）		USBスクロールマウス（ボール）（ケーブル長：約80cm）				
	USBマウス（光センサー）		USBスクロールマウス（光センサー）（ケーブル長：約80cm）				
ハードディスク	20GB		約20GB＊56、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
	40GB		約40GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
	60GB		約60GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
	80GB		約80GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応				
CD-ROM系＊66	CD-ROM		最大24倍速（最内周10倍速、最外周24倍速）				
	CD-R/RW with DVD-ROM＊53＊65		CD-ROM読込み：最大24倍速、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、DVD-RAM読み込み：最大1倍速＊75＊76、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速（High Speed CD-RWメディア対応＊61、バッファアンダーランエラー防止機能付き）				
	DVDスーパーマルチドライブ＊53＊65＊67		DVD-RAM読み込み：最大3倍速、DVD-RAM書き換え：最大3倍速、DVD+RW書き換え：最大4倍速、DVD-RW書き換え：最大4倍速、DVD+R書き込み：最大8倍速、DVD-R書き込み：最大8倍速、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、CD-ROM読み込み：最大24倍速、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速（High Speed CD-RWメディア対応＊61、バッファアンダーランエラー防止機能付き）				
バッテリ＊62	ニッケル水素バッテリ ※Windows® XP Professionalでの測定値	駆動時間（JEITA＊59準拠）	約1.6～1.8時間（約1.7時間）	約1.6～1.8時間（約1.7時間）	約1.6～1.8時間（約1.7時間）	約0.9～1.1時間（約1時間）	約0.9～1.1時間（約1時間）
		充電時間（ON時/OFF時）	約3時間/約3時間				
	ニッケル水素バッテリ ※Windows® 2000 Professionalでの測定値	駆動時間（JEITA＊59準拠）	約1.6～1.8時間（約1.7時間）	約1.6～1.8時間（約1.7時間）	約1.6～1.8時間（約1.7時間）	約0.9～1.1時間（約1時間）	約0.9～1.1時間（約1時間）
		充電時間（ON時/OFF時）	約3時間/約3時間				
	リチウムイオンバッテリ ※Windows® XP Professionalでの測定値	駆動時間（JEITA＊59準拠）	約3.4～3.8時間（約3.6時間）	約3.4～3.8時間（約3.6時間）	約3.4～3.8時間（約3.6時間）	約2.1～2.3時間（約2.2時間）	約2.1～2.3時間（約2.2時間）
		充電時間（ON時/OFF時）	約4.5時間/約3.5時間				
	リチウムイオンバッテリ ※Windows® 2000 Professionalでの測定値	駆動時間（JEITA＊59準拠）	約3.4～3.8時間（約3.6時間）	約3.4～3.8時間（約3.6時間）	約3.4～3.8時間（約3.6時間）	約2.1～2.3時間（約2.2時間）	約2.1～2.3時間（約2.2時間）
		充電時間（ON時/OFF時）	約4.5時間/約3.5時間				

＊50：セレクションによっては再セットアップ用CD-ROMは添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。

＊51：メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。

＊52：HDD内の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。これらの再セットアップ用バックアップイメージをCD-R媒体に書き出す際は、セレクションメニューで選択可能なDVDスーパーマルチドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMが必要です。

＊53：DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 4」が添付されています。

＊54：再セットアップ用CD-ROMを使用するには、セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM系機器が必要です。なお、再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

＊56：Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionは10GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。Windows® 2000 Professionalは10GBがFAT32、残りはNTFSでフォーマット済み。ま

た、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionでは最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

*57：セレクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。

*58：接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g（2.4GHz）とIEEE802.11a（5GHz）は互換性がありません。

*59：JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。
JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）
Windows® XP Professionalにて測定。
駆動時間＝（測定法a+測定法b）/2
測定法a、b共通条件〈条件〉
1）「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ低下アラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ低下アラーム」を無効にする。
2）「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ切れアラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ切れアラーム」を無効にする。
3）LCD輝度:測定法aに於いて20cdを下回らない値に設定。
測定法a、b共通:輝度8段階中下から1段目
4）「画面のプロパティ」・「スクリーンセーバー」タブ内の「スクリーンセーバー（S）」・「（なし）」に設定し、スクリーンセーバーを無効にする。
5）ワイヤレスクライアントマネージャが常駐している場合は終了する。
測定法a〈条件〉
1）動画再生ソフト：Windows Media Playerにて連続再生。
2）「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目を全て「なし」に設定。
3）「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」・「音量」・「デバイスの音量」・「ミュート（M）」のチェックボックスにチェックを入れる。
測定法b〈条件〉
1）デスクトップ画面の表示を行った状態で放置。
2）「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目の「ハードディスクの電源を切る（I）」を「3分後」に設定。他の項目は「なし」に設定。

*60：業界団体Wi-Fi Allianceの標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しております。

*61：8倍速以上で書き換えるには、High Speed CD-RWメディアが必要です。

*62：バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって上記記載時間と異なる場合があります。バッテリパックは消耗品です。長時間駆動設定時、CPU動作性能はLOWモード。（インテル® Celeron® Mプロセッサを除く。）

*63：Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionは、20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。Windows® 2000 Professionalは、20GBがFAT32、残りはNTFSでフォーマット済み。また、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionでは最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

*65：書き込みツール「RecordNow/DLA」が添付されます。

*66：コピーコントロールCDなど、一部の音楽CDの作成及び再生ができない場合があります。

*67：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア（TYPE1）はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。DVD-RはDVD for General Ver2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*68：PS/2テンキーボード（PK-KB026/006）と同時使用の際は、別売のYケーブル（PK-KB012）が必要です。

*69：128MB×2のデュアルチャネルに対応。

*70：回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。内蔵FAXモデムは、海外でもご使用いただけます。利用可能な地域など詳細はhttp://nec8.com/products/versapro/modem.htmlにてご確認ください。

*74：Super AG™に対応。Super AG™機能を使用するには、接続先の無線LAN機器もSuper AG™に対応している必要があります。

*75：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア（TYPE1）はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。

*76：Windows® 2000 ProfessionalではDVD-RAMメディアは読み込みできません。

3．ベーシックノート

型名*1			VY16F/EF-R VJ16F/EF-R	VY16F/EX-R VJ16F/EX-R	VY13M/EF-R VJ13M/EF-R	VY13M/EX-R VJ13M/EX-R
CPU *49			インテル® Pentium® M プロセッサ 725（拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジ*2 搭載）		インテル® Celeron® M プロセッサ 350	
	クロック周波数		1.60 GHz		1.30 GHz	
キャッシュメモリ（CPU 内蔵）	1次		インストラクション用32KB/データ用32KB			
	2次		2,048KB		1,024KB	
BIOS ROM（Flash ROM）			512KB（BIOS ほか）			
システムバス			400MHz（メモリバス：333MHz）			
チップセット			インテル® 855GME チップセット			
最大メモリ（メインメモリ）			1,280MB			
表示機能	表示素子		15型TFT カラー液晶（XGA）	14.1型TFT カラー液晶（XGA）	15型TFT カラー液晶（XGA）	14.1型TFT カラー液晶（XGA）
	ビデオRAM		メインメモリより1～64MBを自動的に使用。			
	グラフィックアクセラレータ*7		インテル® 855GME（チップセットに内蔵。デュアルディスプレイ機能*4、スムージング機能*9をサポート、AGP対応）			
	解像度・表示色*11（別売の外部ディスプレイ接続時*12）	800×600ドット〈SVGA〉	最大1,677万色*13（最大1,677万色）			
		1,024×768ドット〈XGA〉	最大1,677万色*13（最大1,677万色）			
		1,280×1,024ドット〈SXGA〉	最大1,677万色*13（最大1,677万色） ※バーチャルスクリーン機能により実現			
		1,600×1,200ドット〈UXGA〉	最大1,677万色*13（最大1,677万色） ※バーチャルスクリーン機能により実現			
サウンド機能	音源/サウンド機能		PCM録音再生機能（ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応）、MIDI音源機能（ソフトウェアMIDI[XG、XG-Lite、GM、GS演奏モード対応、DLS2対応*15]）、マイクノイズ除去機能*16、3Dポジショナルサウンド			
	スピーカ/スピーカ定格出力		内蔵ステレオスピーカ/1.0W+1.0W			
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載			
通信機能	LAN		標準内蔵（100BASE-TX/10BASE-T対応）			
入力装置	キーボード		本体との一体型、JIS標準配列（英数・かな）、Fnキー（ホットキー対応）、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー・右Altキー・右Ctrlキー付			
	ワンタッチスタートボタン		任意のアプリケーションを登録可能なワンタッチスタートボタンを2つ装備（出荷時はMicrosoft® Internet Explorer、Outlook Expressを登録済み）			
	ポインティングデバイス		スクロール機能付NXパッド標準装備			
インターフェイス	IEEE1394		IEEE1394×1（4ピン）			
	USB		USB（USB2.0）×3*23			
	ディスプレイ		外部ディスプレイコネクタ（アナログRGB）ミニD-sub15ピン×1			
	通信関連		RJ45（100BASE-TX/10BASE-T）LANコネクタ			
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1（マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V）			
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1（ヘッドフォン出力インピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω			
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用（ライン出力レベル 1Vrms）			
PCカードスロット			TypeⅠ/Ⅱ×1スロット（TypeⅢ使用不可）。PC Card Standard準拠、CardBus対応			
パワーマネジメント			自動または任意設定可能（CPU制御*2、HDD制御、モニタ節電機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能）			
電源			ニッケル水素バッテリ（DC9.6V、3,600mAh）、またはAC100V±10%、50/60Hz（ACアダプタ経由）[ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全規格を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用（日本仕様）です。日本以外の国で使用する場合は、別途電源コードが必要です。]			

型名＊1		VY16F/EF-R VJ16F/EF-R	VY16F/EX-R VJ16F/EX-R	VY13M/EF-R VJ13M/EF-R	VY13M/EX-R VJ13M/EX-R
消費電力＊29 （最大構成時）	Windows® XP Professionalでの測定値	約17W（約60W）	約17W（約60W）	約17W（約60W）	約17W（約60W）
エネルギー消費効率 （省エネ基準達成率）＊3	Windows® XP Professionalでの測定値	S区分 0.00048 （AAA）	S区分 0.00048 （AAA）	S区分 0.00048 （AAA）	S区分 0.00048 （AAA）
電波障害対策		VCCI ClassB			
外形寸法（突起部含まず）		330（W）×268（D）×36.3～37.1＊6（H）mm			
質量（CD-R/RW with DVD-ROM、標準バッテリ含む）＊8		約3.1kg	約3kg	約3.1kg	約3kg
温湿度条件		5～35℃、20～80%（ただし結露しないこと）			
インストール可能OS＊24＊27		Windows® XP Professional（SP2）＊14、 Windows® XP Home Edition（SP2）＊14		Windows® XP Professional（SP1）、 Windows® XP Home Edition（SP1）	
主な添付品		ACアダプタ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他			

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。

＊ 2：この機能は電源の種類（AC電源、バッテリ）やシステム負荷に応じて動作性能を切り替える機能です。

＊ 3：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。

＊ 4：本体の液晶ディスプレイと、外付けディスプレイで、異なるデスクトップ画面を表示する機能。Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionで実現。

＊ 6：最薄部～最厚部。バッテリ部、ゴム足部、上蓋エンブレムの突起部を除く。

＊ 7：Microsoft®社のDirectX®に対応。

＊ 8：PCカードは未装着

＊ 9：文字や画面を滑らかに拡大する機能。

＊11：表示素子（本体液晶ディスプレイ）より低い解像度を選択した場合、拡大表示機能により、液晶画面全体に表示可能。拡大表示によって文字などの線の太さが不均一になることがあります。

＊12：本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同画面表示可能。ただし、拡大表示機能を使用しない状態では、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。

＊13：1,677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現

＊14：プリインストールOS以外のOS環境では、拡張版Intel SpeedStep®機能が使用できない場合があります。

＊15：DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。

＊16：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。

＊23：USB2.0に設定されています（初期状態）。なお、別売のインストール可能OS使用時はOS用ドライバにUSB2.0ドライバは含まれません。

＊24：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、VersaPro JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード（ビジネスPC/プリンタ/PC周辺機器）」の「インストール可能OS用ドライバ（サポートOS用ドライバ）」の「VersaPro」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、「インストール/添付アプリケーション」がご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。

＊27：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは（ ）内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は（ ）内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。

＊29：OSはWindows® XP Professional、メモリ256MB、ハードディスク40GB、CD-ROMありの構成で測定。

＊49：使用環境や負荷によりCPU動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。

◆セレクションメニュー＊57

型名＊1			VY16F/EF-R VJ16F/EF-R	VY16F/EX-R VJ16F/EX-R	VY13M/EF-R VJ13M/EF-R	VY13M/EX-R VJ13M/EX-R
再セットアップ用データ＊50	HDD		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納＊52			
	CD-ROM		再セットアップ用CD-ROM＊54添付			
メモリ＊51	256MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、オンボード256MB			
	512MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、オンボード256MB+256MB SO-DIMM ×1			
	768MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、オンボード256MB+512MB SO-DIMM ×1			
	1,280MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、オンボード256MB+1,024MB SO-DIMM ×1			
通信機能	無線LAN (IEEE802.11b/g)＊60		IEEE802.11b/g準拠＊58、WPA対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128ビット（ユーザ設定鍵長40/104ビット）〕			
マウス	USBマウス（ボール）		USBスクロールマウス（ボール）（ケーブル長：約80cm）			
	USBマウス（光センサー）		USBスクロールマウス（光センサー）（ケーブル長：約80cm）			
FDD			USB接続（USB1.1準拠）外付け、3モード（720KB/1.2MB/1.44MB）＊72対応			
ハードディスク	20GB		約20GB＊56、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応			
	40GB		約40GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応			
	60GB		約60GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応			
CD-ROM系＊66	CD-ROM		最大24倍速（最内周10倍速、最外周24倍速）			
	CD-R/RW with DVD-ROM＊53＊65		CD-ROM読込み：最大24倍速、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、DVD-RAM読み込み：最大1倍速＊67、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速（High Speed CD-RWメディア対応＊61、バッファアンダーランエラー防止機能付き）			
バッテリ＊62	ニッケル水素バッテリ ※Windows® XP Professionalでの測定値	駆動時間（JEITA＊59準拠）	約1.8～2.5時間（約2.1時間）	約1.8～2.5時間（約2.1時間）	約1.2～2.3時間（約1.7時間）	約1.2～2.3時間（約1.7時間）
		充電時間（ON時/OFF時）	約2.5時間/約2.5時間			

＊50：セレクションによっては再セットアップ用CD-ROMは添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。

＊51：メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。

＊52：ハードディスク内の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。これらの再セットアップ用バックアップイメージをCD-R媒体に書き出す際は、セレクションメニューで選択可能なCD-R/RW with DVD-ROMが必要です。

＊53：DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 4」が添付されています。

＊54：再セットアップ用CD-ROMを使用するには、セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM系機器が必要です。なお、再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

＊56：10GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。また、最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納はされておりません。

＊57：セレクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。

＊58：接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。

＊59：JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。
JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）
Windows® XP Professional にて測定。
駆動時間＝（測定法a+測定法b)/2
測定法a、b共通条件〈条件〉
1）「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ低下アラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ低下アラーム」を無効にする。
2）「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ切れアラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ切れアラーム」を無効にする。
3）LCD輝度:測定法aに於いて20cdを下回らない値に設定。
測定法a：輝度8段階中下から3段目
測定法b：輝度8段階中下から1段目
4）「画面のプロパティ」・「スクリーンセーバー」タブ内の「スクリーンセーバー（S）」・「（なし）」に設定し、スクリーンセーバーを無効にする。

測定法ａ〈条件〉
1） 動画再生ソフト：Windows Media Player にて連続再生。
2） 「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目を全て「なし」に設定。
3） 「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」・「音量」・「デバイスの音量」・「ミュート（M）」のチェックボックスにチェックを入れる。

測定法ｂ〈条件〉
1） デスクトップ画面の表示を行った状態で放置。
2） 「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目の「ハードディスクの電源を切る（I）」を「3 分後」に設定。他の項目は「なし」に設定。

＊60： 業界団体 Wi-Fi Alliance の標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線 LAN モジュールを内蔵しております。
＊61： 8 倍速以上で書き換えるには、High Speed CD-RW メディアが必要です。
＊62： バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって上記記載時間と異なる場合があります。バッテリパックは消耗品です。長時間駆動設定時、CPU 動作性能は LOW モード。（インテル® Celeron® M プロセッサを除く。）
＊63： 20GB が NTFS、残りも NTFS でフォーマット済み。また、最後の約 2.5GB を再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用 CD-ROM 添付を選択した場合、HDD に再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
＊65： 書き込みツール「RecordNow!/DLA」が添付されます。
＊66： コピーコントロール CD など、一部の音楽 CD の作成及び再生ができない場合があります。
＊67： 片面 4.7GB の DVD-RAM の速度です。カートリッジタイプの DVD-RAM メディア(TYPE1)はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットは FAT32 のみです。DVD-R は DVD for General Ver2.0 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。DVD-RW は、DVD-RW Ver1.1 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊72： 1.44MB 以外（720KB/1.2MB）のフォーマット不可。
＊75： 片面 4.7GB の DVD-RAM の速度です。カートリッジタイプの DVD-RAM メディア（TYPE1）はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットは FAT32 のみです。
＊76： Windows® 2000 Professional では DVD-RAM メディアは読み込みできません。

ギガビットイーサネットLAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T 使用時：1000Mbps
	100BASE-TX 使用時：100Mbps
	10BASE-T 使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T 使用時：UTP カテゴリ 5e 以上
	100BASE-TX 使用時：UTP カテゴリ 5
	10BASE-T 使用時：UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台／ネットワーク
ステーション間距離／ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約 200m ／ステーション間 100BASE-TX：最大約 200m ／ステーション間 10BASE-T：最大約 500m ／ステーション間 最大 100m ／セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

LAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX 使用時：100Mbps
	10BASE-T 使用時：10Mbps
伝送路	100BASE-TX 使用時：UTP カテゴリ 5
	10BASE-T 使用時：UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台／ネットワーク
ステーション間距離／ ネットワーク経路長※	100BASE-TX：最大約 200m ／ステーション間 10BASE-T：最大約 500m ／ステーション間 最大 100m ／セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

無線LAN（IEEE802.11b/g）

無線LAN（IEEE802.11b/g）は、2.4GHz無線LAN（IEEE802.11b/g）対応機器と通信することができる無線LANです。

●2.4GHｚ無線LAN（IEEE802.11b/g）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66
通信モード	IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/6（Mbpsモード）*1 IEEE802.11b：11/5.5/2/1（Mbpsモード）*1
変調方式	OFDM方式（54/48/36/24/18/12/6Mbpsモード時） DS-SS方式（11/5.5/2/1Mbpsモード時）
無線チャンネル	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz帯域（2.4～2.4835GHz）
セキュリティ	WPA（TKIP） WEP（鍵長64bit/128bit*2） IEEE 802.1X

＊　1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。

＊　2：設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、2.4GHz無線LAN（IEEE802.11b/g）規格と5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格を切り替えて通信することができる無線LANです。それぞれの無線LAN規格の概要は以下の通りです。
無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、Atheros Communications社が開発したワイヤレス通信の高速化技術「Super AG™」に対応しています。※4

●2.4GHｚ無線LAN（IEEE802.11b/g）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66
通信速度	IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/6（Mbps）※1 IEEE802.11b：11/5.5/2/1（Mbps）※1
変調方式	OFDM方式（54/48/36/24/18/12/6Mbps） DS-SS方式（11/5.5/2/1Mbps時）
無線チャンネル	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz帯域（2.4～2.4835GHz）
セキュリティ	WPA（TKIP/AES） WEP（鍵長64bit/128bit/152bit※2） IEEE802.1X

●5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71
通信速度	54/48/36/24/18/12/6（Mbps）※1
変調方式	OFDM方式
無線チャンネル	34ch、38ｃh、42ｃh、46ｃh
周波数帯域	5GHz帯域（5.15～5.25GHz）※3
セキュリティ	WPA（TKIP/AES） WEP（鍵長64bit/128bit/152bit※2） IEEE802.1X

※1：各規格による速度（理論値）であり、実行速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※2：設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit、128bitです。
※3：5GHz無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※4：Super AG™機能を利用するには、接続先の無線LAN機器もSuper AG™に対応している必要があります。

内蔵FAXモデム

項目		規格
適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル（10/20PPS） トーンダイヤル（DTMF）
FAX 機能	交信可能 ファクシミリ装置	ITU-T G3 ファクシミリ装置
	同期方式	半 2 重調歩同期方式
	通信規格＊[1]	ITU-T V.17：14,400/12,000/9,600/7,200bps V.29：9,600/7,200bps V.27ter：4,800/2,400bps V.21ch2：300bps
	送信レベル	－ 11 ～－ 15dBm（出荷時－ 15dBm）
	受信レベル	－ 10 ～－ 40dBm
	制御コマンド	EIA-578 拡張 AT コマンド（CLASS1）
データモデム機能	同期方式	全 2 重調歩同期方式
	通信規格	ITU-T V.90：56,000 ～ 28,000bps ＊[2] V.34：33,600 ～ 2,400bps V.32bis：14,400 ～ 4,800bps V.32：9,000 ～ 4,800bps V.22bis：2,400/1,200bps V.22：1,200/1,600bps V.21：300bps
	エラー訂正	ITU-T V.42（LAPM）MNP class4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
	送信レベル	－ 11 ～－ 15dBm（出荷時－ 15dBm）
	受信レベル	－ 10 ～－ 40dBm
	制御コマンド	HayesAT コマンド準拠＊[3]

＊ 1 ： 回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。
＊ 2 ： 送信時は 33,600 ～ 2,400bps になります。
＊ 3 ： AT コマンドについては、『AT コマンド一覧』をご覧ください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、Windows 2000、および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(7) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(8) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(9) この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。またその使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の観賞用の使用に制限されています。この製品を分解したり改造することは禁じられています。
(10) 本書に記載しているWebサイトは、2004年9月現在のものです。

初版 2004年 10月

853-810602-164-A
Printed in Japan

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。